

浅間山カラマツ希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	中部森林管理局・東信森林管理署
所在地	長野県北佐久郡御代田町
面積	1.49ha
設定年	昭和44年4月1日（平成29年4月1日 変更）
保護林の概要 （設定目的）	嘉永3年（1850年）植栽と伝えられる我が国最古のカラマツ人工林で学術的に貴重であるため、この個体群の保護・管理を図る。



モニタリング調査の概要

実施年度	令和4年度
調査項目	森林詳細調査、森林概況調査、資料調査、聞き取り調査
調査手法	森林詳細調査（毎木調査・植生調査）を2プロットで実施し、過年度の調査結果と比較した。
結果概要	平成27年（2015年）の保護管理事業により林床環境が改善したと考えられ、下層植生の増加などの効果が確認された。 保護管理事業の目指す林型の1つとされる、カラマツと広葉樹が混交する林分に近付きつつあると考えられる。 カラマツに台風被害が見られたが、全体としては影響は軽微であった。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

浅間山霧上の松希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	中部森林管理局・東信森林管理署
所在地	長野県北佐久郡御代田町
面積	10.20ha
設定年	平成29年4月1日
保護林の概要 (設定目的)	浅間山のふもとにある「霧上の松」として知られた形質・成長ともに優良なアカマツ天然林の個体群の保護・管理を図る。



モニタリング調査の概要

実施年度	令和4年度
調査項目	森林詳細調査、森林概況調査、資料調査、聞き取り調査
調査手法	森林詳細調査（毎木調査・植生調査）を2プロットで実施し、過年度の調査結果と比較した。
結果概要	マツノマダラカミキリによる可能性のある穿孔・枯損木が確認されたが、継続的に樹幹注入等が実施されており、松枯れの拡大は現時点では見られない。 令和5年度には樹幹注入の追加実施が計画されているが、今後も巡視を継続し、松枯れの被害の拡大が確認された場合は伐倒処理、燻蒸処理の実施の検討が必要である。 光環境の改善によりアカマツの実生が確認され、アカマツの更新に繋がる可能性がある。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

白駒コメツガ希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	中部森林管理局・東信森林管理署
所在地	長野県南佐久郡小海町
面積	183.34ha
設定年	平成5年4月1日（平成29年4月1日 変更）
保護林の概要 （設定目的）	八ヶ岳地域において最も林齢の高い林分で、コメツガを主体とし、シラビソ、オオシラビソ等が混交している。壘石地帯に成林し、下層に蘚苔類が発達しているなど、コメツガ林特有の形態を呈しており、学術的に重要であるため、コメツガの個体群の保護・管理を図る。



モニタリング調査の概要

実施年度	令和4年度
調査項目	森林詳細調査、森林概況調査、資料調査、聞き取り調査
調査手法	森林詳細調査（毎木調査・植生調査）を2プロットで実施し、過年度の調査結果と比較した。
結果概要	コメツガ群落は非常に安定しており、大きな変化は確認されなかった。ニホンジカによる植生被害は亜高山帯針葉樹林では軽微であったが、白駒湿原では植生被害が確認された。平成27年度保護林モニタリング調査では、近隣の八ヶ岳縞枯山希少個体群保護林において深刻なニホンジカによる植生被害が確認されていることから注意が必要である。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

岩の子ブナ希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	中部森林管理局・岐阜森林管理署
所在地	岐阜県本巣市
面積	182.41ha
設定年	平成16年4月1日（平成29年4月1日 変更）
保護林の概要 （設定目的）	ブナを主体とする高齢級天然林であるため、原生的なブナ個体群の保護・管理を図る。



モニタリング調査の概要

実施年度	令和4年度
調査項目	森林詳細調査、森林概況調査、資料調査、聞き取り調査
調査手法	森林詳細調査（毎木調査・植生調査）を3プロットで実施し、過年度の調査結果と比較した。
結果概要	ブナの成木及び後継樹が確認されているものの、今後急速にニホンジカの植生被害が拡大すると予想される。周囲の緑の回廊や保護林と連携した対策の検討が望まれる。日本海側ブナ林と積雪の影響を強く受けた植生が確認され、巨木も複数確認されるなど保護林全体として自然度の高い貴重な生物群集が保存されているといえる。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。